

令和元年度予算における財政構造改革の推進状況

徳島は宣言する
VS 東京

「財政構造改革基本方針（H29-R元）」を着実に推進！

1 「実質公債費比率」の改善

- ◆「実質公債費比率」はさらに改善し、目標の13%を下回る水準へ！
目標年度においても確実に目標達成できるよう、取組み堅持！

H27 18.9% → H28 16.7% → H29 14.6% → **H30 12.8%**

☆ 改革目標
「R元までに**13%程度**」
を前倒しで達成

2 「公債費」「県債残高」の縮減

(1) 「公債費」の縮減

※H30末は見込み、R元は予算ベース

- ◆実質的な地方交付税である「臨時財政対策債」を除いた公債費は、「12年連続」の減！

H28末 562億円 → H29末 514億円 → H30末 509億円程度 → **R元予算 476億円**

- ◆「臨時財政対策債」を含めた公債費についても、概ね、減少基調！

H28末 777億円 → H29末 759億円 → H30末 725億円程度 → **R元予算 732億円**

☆ 改革目標
「R元末までに**500億円未満**」
を達成見込み

(2) 「県債残高」の縮減

※H30末、R元末は見込み

- ◆県土強靱化をはじめとする積極的な施策展開の中でも、
県債残高（「臨時財政対策債」を除く）は「5,000億円未満」をキープ！

H28末 5,154億円 → H29末 5,011億円 → H30末 4,896億円程度 → **R元末 4,990億円程度**

- ◆「臨時財政対策債」を含めた県債残高についても、概ね、減少基調！

H28末 8,453億円 → H29末 8,292億円 → H30末 8,171億円程度 → **R元末 8,190億円程度**

☆ 改革目標
「R元末までに**5,000億円未満**」
を達成見込み

3 「財政調整的基金残高」の充実

※H30末、R元末は見込み（執行段階節減努力等による積み戻しを含む）

- ◆「安定的な財政運営の基盤」と「市場公募債発行団体として市場における信頼性の確保・維持」のため、
「財政調整的基金」残高をしっかりと確保！

※「財政調整的基金」＝財政調整基金＋減債基金

H28末 610億円 → H29末 720億円 → H30末 790億円程度 → **R元末 800億円程度**

☆ 改革目標
「R元末までに**800億円**」
を達成見込み

「新未来の創造」と「持続可能な財政運営」を両立させる
「強靱でしなやかな財政基盤」を確立！